

# 第47回 ニューロ・オンコロジーの会

当番世話人 慶應義塾大学医学部 脳神経外科

佐々木 光

主 題 1)グリオーマ治療における分子マーカーの役割について  
2)高齢者脳腫瘍の治療  
そのほか、治療困難例、稀な症例、アバスチン・ギリアデルの治療経験など

日 時 : 平成26年8月10日(日) 9:30~13:50

場 所 : 東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設(TWIns)2階ラウンジ

住 所 : 東京都新宿区若松町2-2

当日連絡先 : 東京女子医科大学 03-3353-8111(代表)

## プログラム

### 第Ⅰ部 高齢者脳腫瘍の治療、ギリアデル・アバスチン治療経験、治療困難例

(発表7分、討論3分) 9:30~10:50

座 長 片山 真 先生(川崎市立川崎病院 脳神経外科)

- 1 安藤 俊平 先生 (東邦大学医療センター大森病院 脳神経外科)  
『進行した血管芽腫に対する周術期management』
- 2 寺島 華江 先生 (東京女子医科大学 脳神経外科)  
『中枢神経PTLDの1例』
- 3 上月 暎浩 先生 (筑波大学 脳神経外科)  
『再発性神経膠芽腫に対する術中ギリアデル留置後の遅発性浮腫の一例  
~術前・術中トラクトグラフィーにおける弓状束同定と留置後浮腫に関する考察~』
- 4 長谷川 俊典 先生 (小牧市民病院 脳神経外科)  
『当院における悪性神経膠腫に対するアバスチンの治療経験』
- 5 河野 まや 先生 (慶應義塾大学医学部 脳神経外科)  
『慶應大学病院におけるペバシズマブ使用方針と使用経験』
- 6 青木 洋 先生 (新潟大学 脳神経外科)  
『高齢悪性神経膠腫症例の治療』
- 7 埜中 正博 先生 (関西医科大学 脳神経外科)  
『高齢者の膠芽腫に対するテモゾロミド単独使用の経験』
- 8 タンマモングッド ティーパー先生 (東京医科歯科大学 脳神経外科)  
『当院における高齢者グリオプラストーマの治療成績』

= Coffee Break =

15分

## 第Ⅱ部 グリオーマにおける分子診断

(発表7分、討論3分)11:05～11:55

座長 佐々木 光 先生(慶應義塾大学医学部 脳神経外科)

- 1 高柳 俊作 先生 (東京大学 脳神経外科)  
『PDGFRBのgermline変異を認めた頭蓋内多発性筋線維腫症の1例』
- 2 石橋 謙一 先生 (大阪市立総合医療センター 脳神経外科、国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター)  
『H3F3 K27ヒストン変異を有する視床部神経膠腫の一例』
- 3 小倉 良介 先生 (新潟大学 脳神経外科、病理学)  
『免疫染色法を用いた神経膠腫の予後因子解析』
- 4 新田 雅之 先生 (東京女子医科大学 脳神経外科)  
『初発退形成性神経膠腫治療成績 - 摘出率および分子マーカーと予後との相関』
- 5 齋藤 紀彦 先生 (東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科)  
『グリオーマ幹細胞におけるOlig2の機能解析と治療標的としての基礎的検討』

= Coffee Break =

15分

## 第Ⅲ部 教育講演

12:10～13:00

座長 佐々木 光 先生 (慶應義塾大学医学部 脳神経外科)

### 『個別化治療におけるエビデンスとコンセンサス ～消化器がんを中心とした考察～』

慶應義塾大学病院 腫瘍センター 特任講師 浜本 康夫 先生

## 第Ⅳ部 特別講演

13:00～13:50

座長 佐々木 光 先生 (慶應義塾大学医学部 脳神経外科)

### 『脳腫瘍幹細胞における治療抵抗性のメカニズム』

慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門  
特任助教 サンペトラ オルテア 先生



都営地下鉄大江戸線 若松河田駅下車、徒歩 5 分  
牛込柳町駅下車、徒歩 5 分

\* 参加費として、受付で 2,000 円頂きます

\* ご参加の先生方は、日本脳神経外科専門医クレジット(3 点) を取得できます

\* 本会におきましては、規則により弊社による旅費の負担ができませんことをご了承下さい。

\* 本会終了後、意見交換会をご予定しております。

共 催：ニューロ・オンコロジーの会  
MSD株式会社